

意見公募手続（パブリックコメント）に対する意見等の概要及び検討結果

1 案 件 名 : 鹿屋市障がい者基本計画（素案）及び鹿屋市障がい福祉計画・鹿屋市障がい児福祉計画（素案） 〈検討結果区分〉

2 意見の募集期間：令和5年12月25日～令和6年1月24日（31日間）

3 意見提出者 : 1人

4 意 見 数 : 1件

A：策定案に反映できるもの	件
B：既に盛り込み済みのもの	件
C：今後の参考となるもの	件
D：反映できないもの	件
E：その他感想や質問など	1件
計	1件

番号	意見等の概要	検討結果の区分	意見等に対する検討結果（案）
1	<p>障害者とはなんだろう？時間の使い方がうまくいく人とうまくいかない人、地域に差別があるのだろうか？答えは差別はある。残念ながらこれは無くならない。声は対応をあまりしていないのではないだろうか？これは問題は自分でつくったものではなく“自分にある財産”によるところが大きい。病気が無いねといわれるが、病気基準ではなく、教育基準でありたい。学校が勉強に行く所だと思うが学校に行けなかった障がい者は、どこで学ぶのだろうか？答えは地域と家庭による所が大きい。これが崩壊していたら本人はいつまでたっても幸せにならない。問題なのは時代は変化するということだ。ケイタイの登場によって人生大きく変わるかもしれないが、それに対応できるか？という問題になる。全員はムリなので、代弁者をつくらないといけない。この代弁者がうまく機能するかにかかっている。家庭だけではムリがある。それは人間が支えるということ。いつかは亡くなってしまふからだ。全員タイムリミットがある。それは100年後どんな未来を描きたいという“未来の骨組み”（仮）壁なりを自分でつくりたいか？自分の骨組みまでして未来をその通りに生きられるかわからない。みんな一度は病院に行く。みんな朝が来る、そして夜が来る。恐ろしく長いのだ。自分を見つめる時間が短いといい物でもないし、長いといけない、丁度良い時間がいいと思う。障害者という区分であるが、“不自由者”（仮）にできないだろうか？と思う。世の中に出たら不自由の事いっぱいである。どんどん温度が上昇して米が今年是不作になりかねないと思う。雨が降らねばそうなる。冬に収穫となるので、これから、障害者なのか不自由者なのか、楽しみが恐ろしく少ない人なのか？地域の結びつきひとつで変わってしまう。狂暴だと睨みつけられ、土地を奪われる、周囲の人は</p>	E	<p>御意見として承り、今後の市政運営の参考とさせていただきます。</p>

手を切れ、別れるなどいう。余程情報が足りていないせいか、動画撮影をしてくる。なんだかテレビのショーみたいだ。悪意をしているのはわかるが、自分ではどうすることもできない。恐怖心を生むどじょうがあるんだと思う。やりたい放題である。このままどうすることもできない。これが差別だからだ。問題は解らない。これがあたり前のように感じたか？けれどわかったことがある。周囲からみた人は障がい者だが、自分自身は単に不自由なだけなのだ。疲れたら休んでばかりで何も時間的に余裕が無いのだが、他の人たちを見るとたっぷり時間が余っているように見える。尊重はわかるのだが、最近1つ1つずつするようにすると変わってきた。はやくやっていたら良かったなと思う。難問を解くのに夢中でレシーブを忘れていた。100回レシーブをすることだ。次に100回トス、次に100回スパイクこれだけで良かったと気付いた。作戦に片寄り過ぎたこうやってこう～これが続く訳がない。大事なものは、1個することの大事さ。ムリをすると周囲がムリをする。だが、ちょっと独特過ぎたと思う。運もあるが、命がそうさせたかもしれない。限りある精神的な支援も必要かも。結果は無茶苦茶になるかもしれない。個人にとっても精神的充実は大切なものだ。理想がうまくいくとは限らない。だが、続けないとそれは達成することはない。それとはなにか、大事にしたいと思う気持ちではないだろうか？大事にする、大事に渡す。いつしかそれを忘れていたように感じることもある。私は笑顔が最高のプレゼントに思う。あなたはどうか？
(意見については、原文のまま記載。)